

連載企画

# 身近な山や川をジオの視点から楽しむ! 筑波山地域ジオパーク探訪

問 ジオパーク室

その7



## 身近な山・川⑥ 筑波山(その1)～筑波山南麓ジオサイト～

### 筑波山が広いすそ野を持つヒミツ

市の北東に位置する筑波山は、とがった2つの峰に緩やかな広いすそ野を持っています。筑波山を東西に切った断面(図1)を見てみると、その形は、まさに富士山の断面とそっくりです。富士山は約300年前に噴火を起こした火山ですが、筑波山は実は火山ではありません。それでは、なぜ筑波山は富士山のような広いすそ野を持っているのでしょうか。その答えは、中腹の筑波山梅林で見つけることができます。

筑波山梅林に転がる岩石は、表面に数mmの凸凹があり、角が丸みを帯び、黒っぽい色をしています(図2)。これは斑れい岩といい、山頂付近のガマ石や弁慶七戻り(図3)をつくる石と同じ岩石です。よって、この梅林の斑れい岩は山の高い地点から流されたものと考えられています。一方、もともと中腹から麓にかけては、花こう岩と呼ばれる岩石が分布しています(図4)。この岩石は、雨や風を受けるとボロボロになり崩れやすい特徴を持っています。そして、大雨や大きな地震の際、崩れやすい花こう岩



図1 筑波山と富士山の断面図(国土地理院地図より)



図2 筑波山梅林に転がる岩石



図3 弁慶七戻り

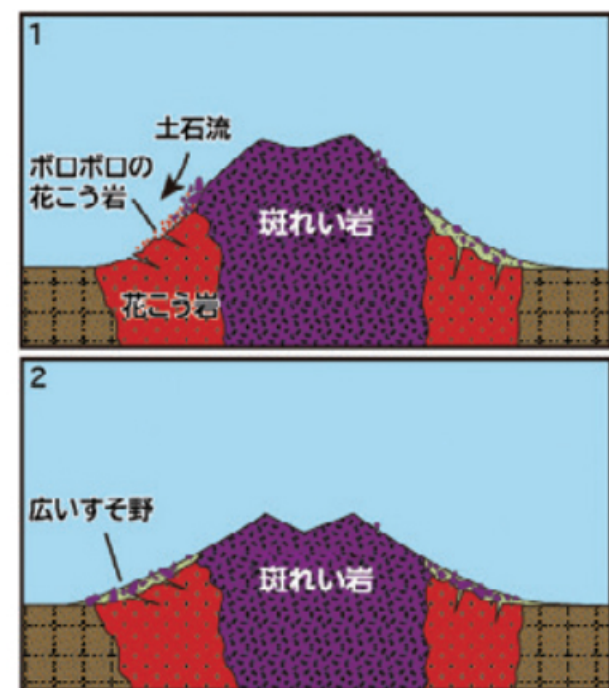


図4 筑波山の広いすそ野ができる理由

とその上に分布している斑れい岩が一緒になって、たびたび土石流として麓に流れ下り、次第に広いすそ野が形成されていきました。筑波山の岩石は、土石流という恐ろしい災害をもたらすとともに、美しいすそ野も作り出したのです!

### おすすめスポット:筑波山梅林

筑波山梅林では、山頂付近から流されてきた斑れい岩と中腹から麓に分布する花こう岩が同時に見られます。春先には梅の花が咲き誇り、斜面の上から見下ろす梅の白い花と黒い斑れい岩のコントラストが見事です。毎年2～3月に開催される「筑波山梅まつり」ではジオパークの企画も開催予定です。詳細は以下の記事をご覧ください。

次回は最終回、筑波山(その2)です。お楽しみに!